



ペテロの手紙を読んでいると、苦しみや苦難について何度も繰り返されています。それは手紙の受け取り手であった当時の教会が直面していた状況によるものでしょう。

私たちは、「神さまを信じると苦しみがなくなる」ということをどこかで期待していると思います。しかしキリスト者であることは苦しみがないことや、感じないようにすることではありません。私たちはこの世にあるかぎり苦しみがあります。しかし、その苦しみの意味は明らかに違っており、またそれに対処する力が与えられています。

① 私たちは苦しみがあり、そして喜びが約束されている

“愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間で燃えさかる試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思ってははいけません。むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。” 12-13

“それだけではなく、苦難さえも喜んでいます。それは、苦難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。” 1-マ 5:3-5

② キリスト者としての苦しみがある

“もしキリストの名のためにののしられるなら、あなたがたは幸いです。栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくくださるからです。…しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえって、このことのゆえに神をあがめなさい。” 14,16

“わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。” マタイ 5:11-

③ 苦しみの中で神の真実を経験する

“ですから、神のみこころにより苦しみにあっている人たちは、善を行いつつ、真実な創造者に自分のたましいをゆだねなさい。 4:19

“あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。” 1 コリント 10:13

○考えてみましょう

・イエスキリストを信じて生きる中でも苦しみに直面します。そのような時の我慢と忍耐は似てはいますが、少し違うと思います。どのように違うと思いますか。上記のローマ5章のみことばから話し合ってみましょう。